

2016 megumi に乗ってびわ湖の中をのぞいてみよう!! (I)

2016年度の環境学習船 megumi による小学生親子環境学習の第1回目は7月23日(土)に保護者21名、児童23名が参加して好天の下開催されました。びわ湖の透明度調査とプランクトンの顕微鏡観察がテーマです。参加者と講師、スタッフ等関係者の方々が乗り組んで9時45分に大津港を出航しました。

オリエンテーションの後、立命館大学の中島淳先生(びわ湖トラスト理事)から琵琶湖のことや生息する生物についての話が、モニター画面を使用して子供達との気さくなやり取りで分りやすく進められました。



先生のお話がすむと透明度板の作成です。親子が協力して透明度を測定するための透明度板(セッキ板)を作成しました。これを湖中に投入し湖水の透明度(直径30cmの白い円盤を水中に沈めて見えなくなるまでの水面からの距離)を測定しました。北湖の観測地点では5m前後の値が得られました。今年の北湖の透明度は例年より低いようです。



透明度の測定が終わると今度はプランクトンの顕微鏡観察です。中島先生に手伝ってもらい湖中からプランクトンを採取しました。

いよいよお待ちかねの顕微鏡観察です。プランクトンを見つけるのに苦労した子供さんもありましたが先生や学生さんに教えてもらいながら観察しました。子供たちはどんなプランクトンを見つけたのでしょうか。

採取したサンプルの中に中島先生がボルボックスやミジンコの仲間を見つけて顕微鏡写真をモニターに映し出して説明してくださいました。



午前の部を終了して昼食をとりながら沖島へと向かいました。途中 megumi は沖の白石や「伊崎の棹飛び」で有名な伊崎寺が間近に見える航路をとってくれました。



沖島に上陸して1時間の自由時間です。今年から megumi の着船場所が沖島小学校前の棧橋に変わったので多くの人は沖島漁港まで往復して沖島と触れ合いました。島で唯一の乗り物である自転車、三輪車が並んでいました。漁業会館で沖島のお土産を買った人もいました。



自由散策を終え、14:30 に megumi は沖島を出航して大津港への帰途に着きました。船内で休息を取ったりクイズをしたりするうちに船は琵琶湖大橋を過ぎ南湖に入りました。南湖で停船して南湖の透明度の測定とプランクトンの採取を行いました。南湖の透明度は3mちょっとで北湖に比べ濁っていることがわかりました。その後再び大津港へ向けて船を走らせながら南湖のプランクトンの顕微鏡観察を行いました。



予定より早く 16:00 に大津港へ帰着、下船後みんなで集合写真を撮って解散しました。



最後に本行事を助成頂いた公益財団法人平和堂財団に厚く御礼申し上げます。

(藤田理事 記)